

# 駒の館だより

第27号

平成20年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府南丹市日吉町  
TEL.0771-72-1181(代)

明治鍼灸大学図書館報



## 目次

① 図書館の利用法	中尾 昌宏
② 自著を語る チーム医療従事者のための 臨床医学全科 患者参画型看護計画	山村 義治 上山さゆみ
③ 私のお薦めの1冊 とてつもない日本 日本人の英語	和田小依里 石崎 直人
④ 特別寄稿1 わか町と新撰組	嶺尾 徹
⑤ 特別寄稿2 大学図書館の役割と期待	種池 禮子
⑥ ⑦ 新着図書案内一覧	附属図書館
⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記	//

## 図書館の利用法

附属図書館長 中尾昌宏

考えるとオンラインジャーナルの導入なども今後検討しなければいけないのですが、早急な実施は難しいでしょう。ゆっくりと机に腰を落ち着けて本の内容をばらばらと見ながら思いをめぐらすことによ

って、昨年中川学長が本報にお寄せいただきましたように新しい発想が生まれ勉強や研究の進歩がもたらされるのではないのでしょうか。そのように図書館を利用していただけると切に念じています。

本年度は図書館では特に看護学部関係の図書および雑誌が新規に加増されました。比較的分かりやすく書かれているものが多いため、読みやすいと思います。看護学部以外の方々にもふるってご利用いただきますようお願いいたします。



平成18年4月に図書館長を拝命して以来2年がたち、今年も明治鍼灸大学にふさわしい図書館とはどうあるべきか頭を悩ましながらすごしてきました。

図書館の使命は臨床・研究・教育に有用な資料を収集所蔵し利用に供することであり、本学でも多数の書籍が収蔵されています。これらは図書館のホームページから検索することも可能であり、どのような本があるかはすぐ分かるようになっています。また最近のIT技術の進歩によって文献検索は非常に便利になっており、多くの雑誌ではコンピューターで掲載論文のタイトルからabstractまで容易に読むことができるようになっています。ただ本とはコンピューターの画面で見るよりも実際に手にとって中身を見るほうがよく分かります。医学の勉強や研究を始めたばかりの若い方々には、自分が必要とする領域だけではなくあまり関係のない分野の本や雑誌も手にとってゆっくり眺めてみてはいかがでしょうか。思いもよらない新しい知識に出会えることもよくあります。また図書館にはこのような本や雑誌があるのだということも実際に見て覚えておいていただくと、今後必ず役に立つでしょう。本学のLANの施設状況などを



### タンポポ (薬草)

学名 Taraxacum officinale(L.)WEBER.  
キク科

黄色の花、丈夫な花茎、ギザギザした葉、地中深く伸びる力強い根、秋になると綿帽子のような姿に変わり、パラシュートを持った実を遠く離れた方へと運んで行きます。

(効能)

皮膚病・肝臓の機能不全・黄疸・潰瘍・炎症  
・便秘・消化作用・強壮作用・浄化作用・興奮作用等



# 自著を語る



## チーム医療従事者のための 臨床医学全科



医学教育研究センター  
内科学ユニット  
山村 義治

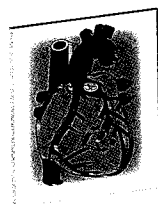
編集：渡邊 決、勝見泰和、  
山村義治  
金芳堂 2006年刊 5,880円

渡邊決先生が3年前に病院長に就任されてまもなく、今後の病院運営について話をしているときに、3学部共通して使える教科書を作らないかと言われて、大変いいと思いますと、二つ返事をしたのが始まり。次の年の春に本当に金芳堂さんと教科書の出版計画がスタートしました。金芳堂の担当の方との打ち合わせで編集方針は理解できたが、さて内科のような守備範囲の広い領域をどうまとめるか結構悩みました(本文665ページ中303ページが内科)。消化器、循環器、呼吸器の領域は現スタッフでまかなえますが、それ以外は府立医大の内分 免疫部門の吉川教授にお願いしてなんとかカバーできました。また、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、精神科など院内ス

タッフで無理な範囲は安野洋一名誉教授、澤田淳名誉教授、久教授、福居教授をはじめとして府立医大の多くの先生方のご協力を仰ぎました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。私については、パソコンの前に座り過ぎて左肩から腰を痛めてしばらくゴルフができなくなったのが面白い(もっと勉強せよとのことか)。この教科書の底辺には、現代医療は医師だけでなく種々の職種の人々が協力して成り立ついわゆる「チーム医療の時代」であるがゆえに当然求められる医学知識は共通のものである、というコンセプトが流れている。それを一冊の本に全科を網羅して凝縮したところがこの教科書の画期的なところ。できあがって一通り目を通してみると多少内容の程度にデコボコがありますが、画像などもほとんど自前でありかなり充実したものになっています。病院内のあちこちに置いてありますので(できれば購入して)ぜひ一読を。

## チーム医療従事者のための 臨床医学全科

編集  
渡邊 決  
明治医科大学大学院教授  
京都府立医科大学名誉教授  
勝見泰和  
明治医科大学教授  
山村 義治  
明治医科大学教授



KNMFO

## 患者参画型看護計画



看護学部  
老年看護ユニット  
上山 さゆみ

編集：社会保険京都病院  
日総研出版  
2007年刊  
390p 26cm 3,900円

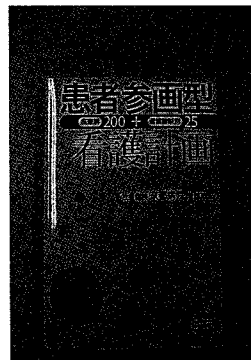
2007年、5月末に『患者参画型看護計画』を発刊いたしました。臨床で現任(卒後)教育に携わり、取り組んできた看護診断 看護計画が形となったものであり、筆頭執筆者としてまとめました。

これまで看護診断 看護計画の書籍はモデル集のようなものが数多く出ていますが、本書では『患者参画型看護計画』の名が示すように、患者 家族とともに看護計画を考え立案し、開示 説明 同意を頂くという行程を経て実践していることを中心に、看護計画の記録の方法、看護診断を導くためのプロセス、院内教育の方法などを臨床者の視点で書いています。また、225種類の看護計画モデルを掲載しており、もちろん

モデルとしても活用できます。

「患者参画型計画」を実践すると、患者主体の看護計画を実現するばかりでなく、説明することにより、看護師の専門性を伝える機会となり、患者の理解と協力が得られ信頼関係作りに役立ちます。そして、患者自身も退院を目指した目標がわかり、自分が納得して選択した計画の内容を積極的に実施することで在院日数の短縮にも繋がるなどのメリットがあります。

執筆では、全てのページに関わりましたが、その中で印象深いのは、看護診断を導くためのプロセスのページです。事例をあげて解説していますが、より理解していただけるように新人と先輩の会話を設定し、その中でどのように看護診断 看護計画を導いていくかを、かみ砕いて書いています。臨床で使用しやすいように書いていますので、看護師、学生など、それぞれの立場で活用していただければ幸いです。



# 私のお薦めの一冊

## とてつもない日本

麻生太郎 新潮新書 2007年6月10日発行



医学教育研究センター  
内科学ユニット  
和田 小依里

愛国心と聞いてどんなイメージを連想するだろうか？ patriotism (愛郷心、祖国愛)、nationalism (国家主義)、chauvinism (盲目的愛国主義)、jingoism (好戦的愛国主義) など英語では多様な表現を持つ。Patriotismは一般的にポジティブな用語で、これを持たない人は世界では尊敬されないという。

本書は先日(2007年)自由民主党総選挙に立候補し、一部では熱狂的な支援を集めた麻生太郎氏が執筆した新書である。近年、年金問題 格差社会 教育崩壊などのネガティブな見出しが新聞を飾っているが、戦後一度も戦争をせずに高度な経済成長を遂げた日本の底力はまだまだ凄いい、「この国の底力を信じてみようじゃありませんか」と筆者は語りかける。中でも印象的であったのは2006年にイギリス国営放送BBCが行ったアンケートの結果のくだりである。世界33

カ国、4万人にアンケートを行った。「今、世界に最も良い影響を与えている国はどこですか？」の問いに対し日本の名前を上げた人が最も多く、33カ国中31カ国が日本は良い影響を与えていると回答したという。

私は2年間フランスの国際機関で仕事をし、世界各国の研究者と交流する機会に恵まれた。東南アジアの人々の反日感情はいかほどかと恐る恐る接してみたところ非常に親日でいてくれた。文化面でも"MANGA"はどの書店でも立ち読みで込み合い(仏語のマンガを読みたい方は御一報下さい)、伝統文化だけでなくポップカルチャーも広く欧州人に受け入れられていた。海外で私も著者と同じようにpatriotismを強くすることになった。

筆者は日本のいい話だけを意図的に取り上げ、暗い面には目を瞑っているという批判もあるだろう。しかし、日本国や日本人が否定的に語られることが多い中、日本の長所を明確にし未来を前向きに切り開いてゆく視点をこの作品で感じることができた。

最後に、我々医療人も医療崩壊、医療ミス、過労死など批判を受けることばかりの中、平均寿命世界一健康達成度世界一というWHOの評価に胸を張って、よりよい医療を行えるようにがんばっていきましょう!!



## 日本人の英語

マーク ピーターセン著 岩波新書  
1990年刊 735円



鍼灸学部  
臨床鍼灸学ユニット  
石崎 直人

我々日本人にとって英語は憧れの対象でもあり、フラストレーションの原因でもある。英文法を理解して訳せても、文章を読んで情景を正確にイメージするのは容易ではない。そうなるためには本書の著者が言うように、《read, read, read · write, write, writeのあまり · I hate English!と英語で叫んでしまう

くらい英語の頭脳環境に入る · 》必要があるのかもしれない。日本の友人から著者に宛てた手紙の中で、裏庭でバーベキューをしたことを伝えるために書いた、「Last night, I ate a chicken in the backyard.」という文章を読んで、「夜更けに友人が裏庭で口を血まみれにして鳥を丸ごと一羽食べている」光景を思い浮かべたという著者の感覚がわかる日本人はどのくらい

いるだろうか。本書では、日本人がとりわけ苦手とする冠詞のひとつである 'a' の存在感を示すこの例のほか、有名メーカーの缶ビールのラベルの不可解な英文が、ある時期から訂正されたのを見て、「うれしくてビールがうまくなった」話、大学生が着ていたジャンパーに書かれた「University of Meiji」の感覚は《明治な大学》といった日常的な例から、科学論文で頻繁に見かける「Especially, ...」の間違いを《特に · とりわけ問題》として取り上げるなど、明治大学で教授を務める著者が実際に遭遇した誤用の例を示しながら、日本人が苦手としている英語の用法や英語的思考の特徴をわかりやすく解説している。「続・日本人の英語」、「心にとどく英語」と続く本シリーズは、日本式英文法の「法則」を「実感」に近づける役割を果たす良書である。



## わが町と新撰組



病院長 嶺尾 徹



壬生御所ノ内町一北材木、これが私の住所である。壬生は以前この一帯が壬生村であったことに、御所ノ内町は御所（大内裏）に由来している。北材木町はこの辺りが製材や銘木などの材木屋が軒を連ねていたことより来ており、因みにここより北は朱雀材木町、南

は南材木町と言う。私の家は千本通に面しており、この名前も木材を連想させるもので、ここから上がる（北行する）と以前の木材の集散場であるJR、昔の国鉄二条駅や二条城に通じる。さらに千本通を丸太町通まで上がると交差点の北西にある児童公園内に「大極殿遺址之碑」が建っていて、ここが昔平安京が造営された時の大内裏跡であることが分かる。

内裏には大極殿があり南正門は朱雀門と言い、ここから平安京南端の羅城門まで朱雀大路が一直線に通っていて、これが現在の千本通である。因みに「朱雀」とは高松塚古墳の壁画「四神図」に描かれている方向を司る四神の内、南を守護する神「朱雀」の名が冠せられたものである。逆に千本通を下がる（南行する）と、節分会に「ガンデンデン」のお囃子に乗って無言でのどかに踊る壬生狂言で知られる壬生寺に至る。壬生寺の東門は千本通の一つ東の通である坊城通に面していて、この少し北寄りに通を隔てて向かい合う二軒の門構えの家がある。東側が前川邸、西側が八木邸と言い、これが幕末の新撰組の屯所である。

私が小学生の頃、千本通は石畳の道で、多少凹凸はあったものの独特の風情があり、ここを木材を積んだ荷馬車が牛や馬に引かれ、のんびりと行き交っていた光景が思い浮かぶ。材木を降ろし、空になった帰りの荷車に乗せて貰い、千本通を何回も往復するのが楽しみの一つであった。しかし更なる楽しみは近所の遊び仲間と夕方まで時間を忘れ興じる「ちゃんばら」遊びである。「ちゃんばら」とは「ちゃんちゃんばらばら」の略で、刀で斬り合うことである。刀と言えばここは材木町、木切れは至る所に散在していて、長短選り取り見どりである。斬り合うにはお互いに名前を名乗らなくてはならない。ここで新鮮組隊士の登場である。人気のトップスリーは近藤勇、芹沢鴨、土方歳三であったが、不思議なことに沖田総司の名前は記憶にない。私は土方歳三を名乗っていた。斬られては起き上がり、また斬ったり斬られたり、よくも

飽きなかったものである。懐かしき、良き時代である。木場には夏になると芙蓉が咲き乱れていたのを鮮明に覚えている。今も何代目かの花が夏に花開くが、芙蓉の目に映っているものは郊外に移転した材木屋の跡に現れたマンション群とガレージであり、群れて遊ぶ子供達の姿はついに目に映らない。「昔はのどかでよかった」と芙蓉の溜息が聞こえるようである。過去への郷愁は此の辺にして新撰組の話に移ろう。

新撰組は十四代将軍家茂が上洛するに当たり、京の治安維持の為に組織された浪士組が前進で、その後京に残留した者達が結成した組織である。その命名は武家伝奏が行った由緒正しいもので、京都守護職松平容保の支配下にあった。

局長の近藤勇は勤勉実直、温厚、天然理心流の達人で思想は尊皇攘夷であったが、佐幕（幕政推進）でもあった。それ故、尊皇を旗印にして討幕に奔走した勤王の志士と対峙し佐幕派とならざるを得なかった。今の三条木屋町西入るに有った池田屋にて長州藩士を襲撃した池田屋事件により新撰組は地位を確立し、その後も勤王派討伐に活躍するが、五年後の鳥羽伏見の戦いの負戦で事実上この組の使命は終わる。これを幕末の歴史と重ね合わせると、ペリー来航により締結された日米和親条約の十年後より、西郷隆盛、木戸孝允、坂本龍馬らによる薩長同盟を挟み、これが大きな役割を果たした徳川慶喜による大政奉還、明治天皇による王政復古の翌年に当たる。近藤勇は鳥羽伏見の戦の後、江戸板橋の刑場の露と消え、土方歳三はこの戦いから更に北方に転戦し、翌年函館戦争で戦死する。死に際し多摩の田舎より上京し、刀一本で対勤王派との戦いに明け暮れた彼等の脳裏に去来したものは単に無念の情だけであっただろうか。彼等の行動は結果的には歴史に逆行したものであったが、佐幕派として頑固に初志を貫いた精神は称賛に値する。幕末に咲いた「徒花」に例える人もある。しかし彼等の行動は皮肉にも幕末から明治維新へ歴史の回転を早める結果をもたらした。これは「結実」と言えるが命を賭けて佐幕として戦った彼等にとっては不本意であろう。

千本通を下り、壬生寺の境内を横切り、八木邸に至る時、私の脳裏には近藤勇や土方歳三ら新撰組隊士の顔にまじり坂本龍馬、西郷隆盛ら勤王の志士の顔が浮かぶ。書籍で見た顔の時もあるし、ドラマで演じた俳優の顔であったりするが、不思議なことに皆穏やかな顔をしている。お互い信念に基づき戦い死んで行った者の満足気な顔である。

〔参考書〕新撰組、京をゆく（淡交社）、  
京都の大路小路（小学館）

## 大学図書館の役割と期待



看護学部長 種池 禮子

近年の目まぐるしい社会の変化と少子高齢社会の中、大学も全入時代を迎え、特に私学は厳しい競争時代に入っています。大学進学者にとっては、本来の教育・研究に加え、建物いわゆるアメニティ等の完備も選択肢の一つになると思われます。

本学は地の利が不便な分、豊かな自然と四季折々変化する美しい山並みに囲まれた中で、常に学習環境が整備されてきていることを誇りとするところです。

本学は、1978年に我が国初の鍼灸短期大学としてスタートし、2004年には同じ伝統医療である保健医療学部 柔道整復学科を、2006年には西洋医学に東洋医学のエッセンス

をプラスした新しい看護学部を開設し、時代のニーズに対応できる人材育成を目指して改革と発展の道を歩んでおります。本看護学部は、「生命および人間の尊厳を基盤に、豊かな人間性を培うとともに、看護職者としての基本的な知識・技術・態度を身につけ、東洋医学の理論と知識

をとりいれることにより、創造的で主体的な看護が実践できる力を養い、人々の健康福祉の向上に貢献できる人材を育成すること」を教育目的としています。

言うまでもなく、大学図書館の使命は、教育・研究・学習等の諸活動に対して、各種の情報関連支援サービスを提供することにあります。その大学の学部学科に関連する分野の既存の「知」、現在形成されつつある「知」を大量に集積して利用に供し、公開するという役目を担っています。本学図書館には、東西医学に関する文献や希少な古典や古文書など貴重な文献が揃っていることを財産に、本学の特徴ある看護学を構築する糧とすべく、学生、教職員の大いなる利用を期待するところです。

また、大学図書館は、知的生産の場として、学生のモチベーションを高め、ニーズに応えること、すなわち学生にとってはあらゆる分野の勉強が大学の中でいつでも自由にゆっくり時間を使いながらのびのびとできること、教職員にとっては、教育・研究において大学の中にいながら世界的な情報が簡単に得られるという教育・研究活動を支える学術情報基盤の要となる必要があります。また、勉学への楽しみは、図書館への親しみに比例するように思います。学生生活の初めに、図書館の利用方法を知り、室内の雰囲気馴染み、居場所を見つけ、図書館へ行くのが楽しみとなり、学生が積極的に図書館を使いこなすことを期待します。そのためには、時代と利用者のニーズに対応した環境の整備、図書館情報資源の充実、静かでゆったりと学べる設備や雰囲気、開館時間の延長などが必要です。しかし、図書館業務の多様化、高度化、増大に対する図書館職員の不足、価格上昇を続ける学術洋雑誌、

電子ジャーナルへの対応など、多くの課題を抱えています。近年、多くの大学や地域の図書館では一般に開放し、学習できる環境を提供していますが、図書館の充実が大学の魅力を反映することを心して本学図書館も更なる充実発展のために学生、教職員が一体になってさまざまな工夫や取り組みがなされることを期待します。



# 新着医学系図書・視聴覚資料一覧

(平成19年1月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
役立つ使える鍼灸鍼法	鈴木信	医道の日本社
鍼灸開業繁栄の秘訣塚谷信男／山崎良斎		六然社
鍼灸師へ伝えたい外科医からのメッセージ-再生理学をめざして-	福地益人	文芸社
学生のための漢方医学テキスト	日本東洋医学会学術教育委員会	南江堂
癒しのツボエクササイズⅠ・Ⅱ	日本放送協会・日本放送出版協会	日本放送出版協会
鍼灸補完・代替医療	篠原昭二	金芳堂
最新鍼灸治療165病-現代中国臨床の指南書-	張仁編著／淺野周訳	三和書籍
新版完全図解すぐ効く!よく効く!ツボ療法	星虎男	主婦の友社
CD-ROMでマスターする舌診の基礎	高橋楊子	東洋学術出版社
宋以前傷寒論考	岡田研吉ほか／森立之研究会編	東洋学術出版社
エビデンスに基づく変形性膝関節症の鍼灸医学	矢野忠編集代表／川喜田健司編	医歯薬出版
入門傷寒論	森 由雄	南山堂
鍼灸 補完・代替医療	篠原昭二	金芳堂
学生のための漢方医学テキスト	日本東洋医学会学術教育委員会	南江堂
黄帝内経太素 新校正 日本仁和寺源鈔古卷子本	楊上善撰注／錢超塵校正／李雲	學苑出版社
統合医療 基礎と臨床 Part1. [基礎篇] Part2. [臨床篇]	渥美和彦責任編集	日本統合医療学会
英語医学論文プロのコツ誰でも書ける!	Jeremy Williams／ウィリアムス	メジカルビュー社
誰でもできるプロの整体術・伝授1. 上半身編・2. 下半身編	中川隆嗣	BABジャパン出版局
整体法 これが本当の骨盤の話	井本邦昭	三樹書房
身体均整法 (姿勢保健均整法増補・改題)	手嶋 昇 編著	不昧堂出版
自力整体の神髄 なぜ自力整体は効くのか? DVD付き	矢上 裕	新星出版社
柔道整復師国家試験 傾向と対策2008	柔道整復師教育研究会編集	南江堂
医学への統計学 新版	丹後俊郎／吉川俊之 監修	朝倉書店
標準理学療法学・作業療法 学専門分野 生理学 第3版	奈良勲ほかシリーズ監修／石澤	医学書院
図解ホームマッサージ すぐ使える部位別・症状別・セルフマッサージ	森松昭雄監修／中山明善監修	山海堂
骨・軟部腫瘍および関連疾患	越智隆弘 総編集／吉川秀樹 専門	中山書店
股関節セラピー 若返る!痛みが消える!	久野譜也／渡會公治／村瀬鎮雄	マキノ出版
仙骨姿勢講座 仙骨のコツは全てに通ず	吉田始史 編著	BABジャパン出版局
多関節運動学入門	山下謙智 編著	(有) ナップ
グラント解剖学図譜 第5版	Anne M. R. Agurほか／坂井建雄	医学書院
関節のMRI	福田国彦編者／杉本英治編者／	メディカル・サイエンス
カラーアトラス手・肘の外科	三浪明男 編著	中外医学社
手の外科の要点と盲点	金谷文則 編集／岩本幸英 監修	文光堂
私のすすめる運動器疾患保存療法実践マニュアル	黒澤 尚	全日本病院出版会
臨床理学療法マニュアル 改訂第2版	黒川幸雄 編集／伊東元 編集／渡	南江堂
病気になるない整体学	宮川真人	彩図社
看護職の人材育成と人事考課のすすめ方看護スタッフの能力開発を目指して	楠田丘 共著／斎藤清一 共著	経営書院
救急羅針盤 これがすべてだ救急医療	太田祥一 編／行岡哲男 監修	荘道社
医療安全管理ポケットマニュアル	東北大学病院医療安全推進室編	日本医事新報社
アイソトープ診療ハンドブック基礎・管理・診療・看護の実際	利波紀久 編／中嶋憲一 編	エルゼビア・ジャパン
目で見る80キロカロリー食品ポケットガイド	鈴木吉彦 著／塩澤和子 著	主婦の友社
青年看護師、精神看護の荒野を行く!	粕田孝行 著	学習研究社
看護・コメディカル・医療事務・介護スタッフのためのなぜ?どうして? vol.1・2	医療情報科学研究所編	メディックメディア
早わかり看護ノート	アーレン・マイヤーズ 著／岡田	照林社
腹部のフィジカルアセスメント	城丸瑞恵 編著／副島和彦 編著	学習研究社
臨床検査室のためのISO15189解説とその適用指針	河合忠 共著／青柳邁 共著	丸善
検査オーダーの読みかたと核医学・PET検査の実際(第一線の診療放射線技師のための)	遠藤啓吾 編／松原國夫 編／大	文光堂

看護マネジメントの理論と実際(人的資源論の立場から)  
 思いがけない薬の効果  
 認知症のとらえ方・対応の仕方  
 ターニングポイント看護人生の岐路に影響を与えたことは何ですか?  
 看護専門職の死生観その人らしい人生の終焉を求めて  
 看護と法律  
 ナースのためのすぐわかる検査値ガイドブック

田尾雅夫 著  
 三輪 明 著  
 森 敏 著  
 古城幸子 [ほか] 編著  
 道廣睦子 [ほか] 編著  
 小海正勝 著  
 西崎 統 監修

医療文化社  
 新風舎  
 金芳堂  
 西日本法規出版  
 西日本法規出版  
 南山堂  
 ナツメ社

他

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

健康になる癒やしのツボ  
 細胞と組織、神経系、循環器系、呼吸器系  
 泌尿器系、生殖器系、内分泌系、骨格、筋肉系  
 消化器系、免疫系、感染、血液皮膚・感覚器系  
 循環の生理1心臓の機能・2血管系・リンパの循環・特殊循環  
 呼吸の生理  
 消化と吸収の生理  
 運動の生理  
 感覚の生理  
 排泄の生理尿の生成と排泄  
 内分泌の生理  
 神経系の生理1一般的機能・2中枢・自律神経系  
 体液の生理  
 代謝と栄養・体温の生理  
 生殖の生理  
 心身症を予防する日常生活  
 神経症の予防と治療  
 心えてきたうつ病  
 四十代からのボケを防止する日常生活  
 心と体の健康のために健康への8つの提言  
 リラクゼーション法  
 指圧・マッサージ  
 アメリカの看護専門職への道  
 日本の看護GHQによる看護改革  
 小児看護技術vol.1~3  
 21世紀の健康・栄養管理 disc1 vol. 1・2・3・5・7・9  
 呼吸器感染症  
 気管支喘息  
 びまん性肺疾患 1・2  
 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)  
 睡眠時無呼吸症候群  
 慢性呼吸不全と包括的呼吸リハビリテーション  
 胸膜疾患  
 肺循環障害  
 肺癌  
 フィジカルアセスメントvol.1~4  
 訪問看護ビデオシリーズ number 1~8

長野仁 監修・指導  
 坂井建雄 企画協力/石村和敬  
 坂井建雄 企画協力/小林靖  
 坂井建雄 企画協力/小林靖  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 新和 制作  
 医学映像教育センター制作 著作  
 医学映像教育センター制作 著作  
 医学映像教育センター制作 著作  
 医学映像教育センター制作 著作  
 医学映像教育センター制作・著作  
 フリーク・セブン制作・著作  
 工藤翔二 総監修/中田紘一郎 監  
 工藤翔二 総監修/大田 健 監修  
 工藤翔二 総監修/吉澤靖之 監修  
 工藤翔二 総監修/木田厚瑞 監修  
 工藤翔二 総監修/村田 朗 監修  
 工藤翔二 総監修/木田厚瑞 監修  
 工藤翔二 総監修/小泉 潔 監修  
 工藤翔二 総監修/加藤貴雄 監修  
 工藤翔二 総監修/加藤貴雄 監修  
 医学映像教育センター制作・著作  
 インターメディカ企画・制作

NHKエンタープライズ  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 新 和  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 フリーク・セブン  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 医学映像教育センター  
 インターメディカ

他

# 図書館からのお知らせ

## コピー機の利用と複写申込について

図書館のコピー機は著作権法第31条による複写サービスを行なうために設置されたものであり、図書館の管理下で厳格に運用されることが求められています。

コピー機を利用される場合は、カウンターで「文献複写申込」に必要事項を記入し、許可を得て下さい。

コピーの利用に当たっては著作権法を遵守して下さい。また、当館所蔵資料以外はコピーできませんので、私物の出版物等の複写については事務棟等に設置しているコピー機をご利用下さい。

## 著作権について

著作権とは、図書、定期刊行物、芸術等の文化的な創作物を著作意図の者により、無断で利用または公表されることのないよう保護するためのもので、この権利は著作権法と言う法律で保護されています。

### 著作権法第31条（図書館における複製）

図書館においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館資料を用いて著作物を複製することができます。

1、図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（※発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複製物を一人につき、一部提供する場合

※ 著作物の一部分とは、図書については、おおむね半分以下。その図書が複数の著者により編集された編集著作物の場合は、図書の半分ではなく、それぞれの著者が担当した項目（執筆部分）の半分ということになります。

※ 発行後相当期間とは、雑誌の文献複写の場合、次号が発行されるまでの間、または発行後3月ということですが、これは、あくまでも一般に市場に流通せず入手（購入）不可能となる時点を目指す目安と考えられ、当館の配架雑誌がなお国内市場で入手可能であれば「相当期間経過」には該当しません。従って最新号の雑誌の全文複写はできません。

## 平成18年度の収書・蔵書状況

- ・収書冊数：一般図書2,450 (713)、製本雑誌434 (224)、視聴覚資料 117 (3) 合計3,001 (940)
- ・蔵書冊数：一般図書48,744 (9,863)、点字図書1,404、製本雑誌 12,438 (6,266)、視聴覚資料 2,186 (123) 合計64,772(16,252)
- ・雑誌タイトル数：学術雑誌186 (67) 一般雑誌8 合計194 (67)  
( )は外国書で内数。



## 編集後記

図書館報を発刊するにあたり、本年度は嶺尾病院長と種池学部長に特別寄稿をお願いいたしました。嶺尾病院長にはお住まいの近くである千本通り界隈の思い出を新撰組を含めた幕末の歴史とともにノスタルジックにお話いただきました。種池学部長には図書館のあり方とともに先生の学生教育に対する熱意の伝わってくる文章をお寄せいただきました。自著を語るのコーナーは内科の山村副院長と看護学部の上山先生にお願いしましたが、いずれも常に手許において活用したい内容の本と思います。私のお薦めの一冊のコーナーには、和田先生と石崎先生に英語や日本と外国との関係に関する文章をお寄せいただきました。私たちも外国や外国語に対しても常に興味を持ち、勉強を続けなければならないと思います。お忙しい中原稿執筆をご快諾いただきました先生方には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(中尾昌宏)

## 平成18年度図書館利用状況

### 1、貸出件数

鍼灸学部・保健医療学部・看護学部・短期大学部等（延べ人数）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計	
H18年度	冊数	445	654	446	588	1,174	39	71	744	4,161
	%	11	16	11	14	28	1	2	18	100
	人数	288	468	293	369	380	15	31	223	2,067
	%	14	23	14	18	18	1	1	11	100
H17年度実績	冊数	335	495	312	1,007	1,015	199	96	886	4,345
	%	8	11	8	23	23	5	2	20	100
	人数	231	337	215	711	359	74	37	258	2,222
	%	10	15	10	32	16	3	2	12	100

\*学部生の長期貸出（上記表の内数）

受け期間	鍼灸 保・短 看護			H17年度実績	鍼灸 保・短	
	冊数	冊数	冊数		冊数	冊数
夏季休業（7月14日～8月31日）	75	34	0	112	34	
	49	22	0		70	23
冬季休業（12月12日～26日）	89	23	3	96	14	
	57	12	1		62	11
春季休業（1月22日～3月28日）	170	40	11	74	13	
	110	22	5		45	9
合 計	445			343	343	
	278				220	

### 2、閉架資料利用件数（閲覧・貸出）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	小 計	H16年度実績
冊数	215	207	364	395	82	1,263	1,796
人数	138	143	241	247	42	811	1,225

### 3、文献複写（図書館相互協力）

(平成17年度実績)

- ・受付件数 127件、433 枚 189件、605 枚
- ・依頼件数 98件、391 枚 64件、262 枚

### 4、休日開館（土曜日等）の利用状況

(平成17年度実績)

- ・開館日数 34 日 40 日
- ・利用人数 79 人 70 人